



株式会社ゼロ・コーポレーション（本社:京都市中京区、社長:菊本雅幸、以下「ゼロホーム」）は、宮崎県のスギ植林・育林を目的とする再造林支援 2024 年度分として、約 567 万円の寄付金の贈呈を 2024 年 12 月に行いました。この寄付は、ゼロホームが独自で進める「苗木を還そうプロジェクト（以下、「苗木プロジェクト」）」の一環として 2021 年にスタートし、今回で 4 回目です。同プロジェクトにおけるこれまでの寄付金合計は、約 1993 万円となりました。

弊社は、公益的機能発揮に向けた多様な森林づくりや林業の担い手の確保育成を図り、森林資源の循環利用を推進するとともに、より堅固なサプライチェーンの構築を目指して、2020 年に宮崎県・同森林組合連合会・同木材協同組合連合会と包括的連携協定を締結いたしました。この取り組みは、京阪グループが推進する“SDGs を実現するライフスタイル”を企画・提案する「BIOSTYLE PROJECT」の一環です。「苗木プロジェクト」もこの連携協定から生まれ、森林資源の循環利用に大きく貢献するものと考えております。

日本は国土面積の約 67%が森林であり、世界でも有数の森林国です。しかし、輸入材との競合等により国産木材需要の減少や価格の低下、植林や育林のコスト増、それにとまなう山や森林の所有者の高齢化や意欲減退、林業の担い手不足等、多くの課題を抱え、植林し、山を育て、伐採するという循環サイクルがうまく機能していません。

宮崎県は、スギの素材生産量 33 年連続 1 位（2024 年発表時）であり、日本で有数のスギ生産地です。弊社は、京阪神を中心に近畿エリアで木造住宅を建築し、販売する総合住宅会社として、山や森林の抱えるこれらの課題を前に、弊社が 1 年間にお引渡しした棟数に使用した柱の本数分に必要な苗木を宮崎県の山に還すことで、再造林を支援し、日本の健全な山や森林の循環サイクルに貢献いたします。

■ゼロホームの「苗木を還そうプロジェクト」 <https://zerohome.jp/shiru/miyazaki-pj/>



※2024 年 9 月、宮崎県にて社員の現場研修を実施。再造林や苗木育成の現実を目の当たりにし、改めて現場の厳しさを体感。

【本プロジェクトにより期待できる効果、貢献】

1. 再生林を持続的にバックアップします
2. 山主の再生林コストの負担を軽減します
3. 植林や育林により CO₂ を吸収します
4. 再生林が継続的に実施されることにより、林業従事者雇用に寄与します
5. プロジェクトをアピールし、一般ユーザーの再生林に対する意識をアップします
6. SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献します



※ 「花まるクレジットポイント」からのご寄付について

「花まるクレジットポイント」とは、「e-kenet Visa カード」のご利用に応じて進呈されるポイントです（一口 1,000 円単位で交換）。今回の寄付額には、2024 年 11 月末までに「花まるポイント」から「苗木を還そうプロジェクト」へのご寄付を賞品として交換していただきました 20 口分が含まれます。

SDGs を実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにてきう様々な活動を推進していきます。

- ▶ 本取り組みは、BIOSTYLE の概念を事業化する取り組みとして BIOSTYLE 事業認証を受けています。
- ▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら <https://www.keihan.co.jp/corporate/sustainability/biostyle/>

KEIHAN
BIOSTYLE
PROJECT

京阪グループのSDGs ビオスタイルプロジェクト

【このリリースのお問合せ先】

株式会社ゼロ・コーポレーション 広報部 深田朱美

TEL:075-221-4460 MAIL:info@zero-corp.co.jp

